



あかまつ げんせつ
赤松 月船
(1897-1997)

野をゆき 一日たのしくて
仔牛をつれし 親牛の
ひとみしたしく 見守りぬ
詩集「平川」(1936年)より

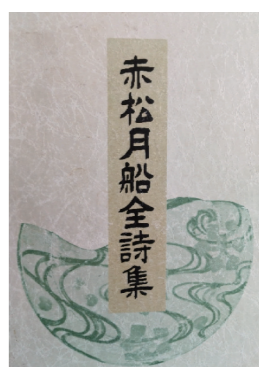
月船は、岡山県鴨方村(現在の浅口市)に生まれ、幼少で仏門(曹洞宗)に入りました。僧侶として永平寺で厳しい修行を行う傍ら、「詩」を中心とした文学にも才を発揮しました。一時(1918~1936)宗門を離れ、東京で詩人として活動しました。月船にとって、東京でのこの18年間、詩人としての活躍はもとより、詩・文学界で多くの友人(室生犀星、井伏鱒二など)と深く交流し、詩壇

での地位を不動のものとしていきます。1936年に、宗門の強い要請で仏門に復帰することになり、平川村(現在の備中町平川)の観音寺住職となります。地域では詩のサークルを作り、村民に詩を作る楽しさを伝えました。

僧侶として多忙な中でも積極的に詩作を続けていきました。「どんな田舎に住んでいようと中央詩壇とは郵便でやりとりできる」が持論でした。日本野鳥の会の創設者である中西悟堂は、月船を評して「純粹の人、反骨の人」と言われています。

戦後は、備中町教育委員長にも就任し、教育行政に

手腕を振るいました。戦後の教育のシンボルとして平川小学校にペスタロッツ像(作:宮本隆・田辺虎二郎)を建立しました。



赤松月船全詩集(資料提供:高梁市立図書館)



ペスタロッツ
18世紀後半のスイスの教育者。子どもを大切にすることを教育を創った人物。人物写真提供:平木宗夫氏

今号の表紙

高梁市立川上こども園

川上こども園は、「ふるさとに親しみ、心身ともに健康で豊かな心をもつ子どもを育てる」「元氣な子」「自分や友達を大切にする子」「ふるさとに親しむ子」を園目標に掲げ、子どもたち一人一人の「やってみたい」という気持ちを大切にしながら自分で考え行動する力を育てています。

日々の遊びや生活の中で、28名の子どもたちはさまざまなかんがいの経験を重ねながらのびのびと遊び、笑顔あふれる園生活を送っています。



あとかき

今号では3月定例会の予算審議を中心に、私たちの暮らしに直結する重要な施策についてお伝えしています。

委員会では2月に議会広報の編集に関して先進自治体を視察しました。今号より審議内容の紙面変更を行いました。また、難しい議会用語をできるだけ平易な言葉に書き換えるなど分かりやすい紙面づくりに努めました。

いかがだったでしょうか。皆様の「声」をお聞かせいただければ幸いです。

(川上博司)

高梁市議会だより

第66号
2026年5月

3月定例会

市長が掲げる「挑戦と創造の予算」を徹底審議



高梁市議会だより

2026 5

ご意見はこちらまで ■高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277

発行 高梁市議会



6月の定例会スケジュール

6/12	金	本会議 (議案の上程)
18	木	本会議 (一般質問)
19	金	本会議 (一般質問)
22	月	本会議 (一般質問)
24	水	本会議 (議案質疑)
25	木	委員会
26	金	委員会
29	月	(委員会予備日)
7/2	木	本会議 (採決)

※6月定例会への請願・陳情の締め切りは6月4日(木)です。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止! 有権者が求めることも 禁止されています!

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

- 議会広報公聴特別委員会
委員長 森和之
副委員長 金尾恭士
委員 川上博司
委員 宮田好夫
委員 藤岡善行
委員 前野洋行
委員 川上雅美
委員 長田伸彦



高梁市議会ホームページ
アクセスはこちらから

3月定例会

町家ステイ吹屋2棟目は必要？

古民家再生事業

5601万円

内容 吹屋ふるさと村の古民家を新たに改修し、一棟貸し宿である「町家ステイ吹屋」の2棟目を整備する事業



整備対象となる建屋

Q 市の整備ではなく、建築予算を民間業者に負担してもらうことは検討したのか？

A 検討はしたが、民間事業者の上がないこと、また、市が整備して地域が活用するという当初の計画により、市が整備する判断となった。今後は運営面において、現在の指定管理方式から、事業者が利益を出して、市に収入が入る形式への移行を検討している。

Q 中東情勢などにより建築費の高騰が見込まれるが、リスク認識はあるのか？

A 上昇は想定しているが、先送りすればさらに高くなる可能性があり、今実施すべきと判断した。

Q 財政が厳しい中で、この事業に投資すべきなのか？

A 吹屋は重要な観光資源であり、宿泊施設の整備は必要である。

Q 地理的にも観光として成立するのか？

A 課題は認識している。備中松山城と並ぶ重要な観光拠点として強化が必要である。

持続可能な集落に

集落支援員配置事業

40万円

内容 集落機能の維持が年々困難になっている状況の中、持続可能な地域運営をサポートする人材を集落支援員として今年度から新たに川上地域に配置する事業

Q 集落支援員の配置形態と予算額40万円の内容は何か？

A 7月ごろから週1日の配置を予定しており、地域から人材を推薦してもらう形態としている。予算は会計年度任用職員の人件費を見込んでいる。川上地域まちづくり協議会と相談しながら、地域の実情に応じて、柔軟な採用形態を検討していく。

草刈り作業の協力者募集

道路維持管理作業協力制度事業

159万円

内容 町内会で実施困難な市道における草刈業務の一部について、道路維持管理作業に協力できる人を募り、作業委託する事業

Q 取り組みに至った経緯と内容は？

Q 宿泊稼働率が17%と低い中で、市民の利益につながっているのか？

A 現時点だけでなく、将来的な観光波及効果を見据えて判断している。

Q 1棟目を運営する「株式会社吹屋」の後継者や持続性は担保されているのか？

A 施設整備によって将来的な雇用や担い手確保につなげたい。

討論

【反対】

● 行財政改革を進める中で市民サービスの見直しを進めている現状との整合性に疑問がある。ラ・フォーレ吹屋に民間応募がなかったという市場評価もある。中東情勢による建築コスト上振れのリスクなどを踏まえ、現時点での実施は適切ではないと判断し、「反対する」。

【賛成】

● 人口減少や高齢化により空き家が増え、維持が難しくなっている。歴史ある建物を守りながら活用し、滞在型観光を通じて地域のにぎわいや経済の活性化につなげる重要な取り組みであり、賛成する。

● 優位な財源を活用し、市の負担は最小限である。貴重な建物を後世に引き継ぐものでもあり、賛成する。

質の高い給食提供を

学校給食調理等業務委託事業

1億1052万円

内容 令和8年度より、給食調理等業務を民間会社（株式会社ジーエスエフ）に委託する事業

Q 3年間の業務委託とのことだが、その間、物価高騰などにより、値上がりはないのか？

A 原則として委託料は、3年間同額である。



委託先の調理の様子



ふるさと回帰で

定住促進を

ふるさと回帰U・孫ターン支援補助事業
200万円

内容 本市にゆかりのある者がUターン・孫ターンし、就職・就農・起業等する場合に、転入・定住費用を補助する事業

Q 孫ターンの要件とは何か？

A 祖父母のいずれかが本市に5年以上住民登録があり、居住しており、お孫さんが転入される場合を想定し、地元での就業を期待している。

手軽にスマホで

無料相談

オンライン健康医療相談事業

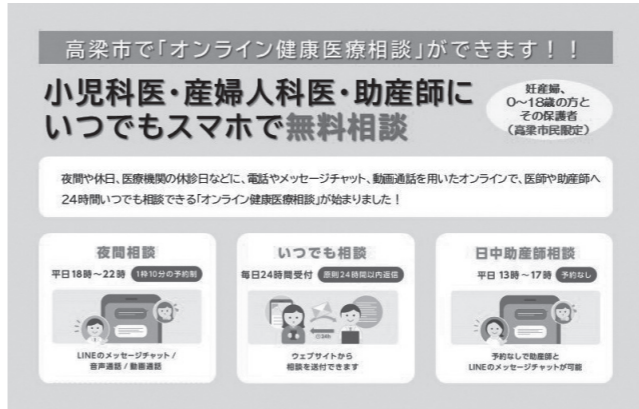
262万円

内容
夜間や休日、医療機関の休診日などに24時間体制で電話やメッセージチャット、動画通話を用いて小児科医・産婦人科医や助産師に直接相談ができる事業

Q どのような仕組みで、いつから始まるのか？

A スマートフォンを使い、電話・チャット・動画通話で24時間相談可能。

小児科医や産婦人科医、助産師に直接つながる仕組みで、令和7年8月から実証事業として開始。令和8年4月から本格実施。



Q 対応する医師は市内の医療機関か？対象は？

A 市内の医療機関には事業開始の説明と了承を得ている。実際に相談対応を行うのは、事業者（株式会社キッズパブリック）が契約している医師・助産師で、臨床経験3年以上の専門職が対応する。対象は妊産婦、0歳から18歳までの子どもとその保護者。

コンビニ交付で

証明書の取得が便利に

住民票等コンビニ交付導入事業

2774万円

内容
住民票、印鑑証明、所得・課税証明をコンビニで交付するシステムを整備する事業

Q 今後、財政負担が増えていくのではないかと？

A 令和10年度までの運用経費を含めた導入費用の2分の1が交付金の対象となり、昨年度創設された起債を充当できるようにしたので、財政負担を抑えて整備できるようにになった。

修正案、僅差で否決

3月定例会では古民家再生事業の建築予算（町家ステイ吹屋2棟目整備）が含まれている令和8年度高梁市一般会計予算に対し、当該事業関連予算の減額を求める修正動議が提出されました。

修正動議提出の理由として、主に次の3点が示されました。

- ① 行財政改革との整合性
現在、本市では行財政改革が進められており、各分野で見直しが行われている中で、新たな投資との優先順位について整理が必要であること。
- ② 世界情勢によるリスク
資材価格や物流コストの上昇が続いており、建築費の上振れリスクがあること。
- ③ 需要・市場性に関する状況
ラ・フォーレ吹屋において、募集期間を延長しても民間事業者からの応募がなかったこと、また既存施設の稼働状況などを踏まえ、需要について改めて検証が必要であること。

なお、修正案は賛成6反対9で否決されました。採決の詳細は5ページ結果表をご覧ください。



修正動議

条例や予算などの議案に対し、内容の修正を求めるものです。今回は、一般会計当初予算の中に組み込まれている一部の事業について減額を求める内容であったことから、修正動議という形が取られました。

備中松山城

駐車料金徴収

議案第8号

「高梁市観光駐車場等に関する条例の一部を改正する条例」

内容
備中松山城の登城者用駐車場として現在利用している城見橋公園駐車場及びふいご峠駐車場について、人件費及び物件費等の高騰により管理費用が年々上昇し、財政負担も大きいことから、有料化を図る条例改正

Q 駐車場の管理は誰がするのか？

A 引き続き観光協会が管理を行う。

Q 使用料の収入先は？また、どういったことに使用するのか？

A 市の収入になり、備中松山城の周辺整備や管理経費に使用する。

Q 年間の収入と経費の見込みは？

A ふいご峠駐車場において年間約8000台を見込んでおり、約800万円の収入を想定している。登城整理に関する経費は約3160万円。

議員報酬3%カット

乙議案第2号

「高梁市議会議員の議員報酬の特例に関する条例」

内容
市は行財政改革強化集中プランの一環として、市長・副市長・教育長の特別職が報酬を削減している。それに伴い、議員報酬も3%削減する条例を制定

討論

【反対】

- これまで議会は議員定数の削減や視察予算の削減など改革を行っているのに、削減の必要はない。
- 3%の削減では市民の理解は得られないため、5%にすべきである。

○：賛成 ●：反対

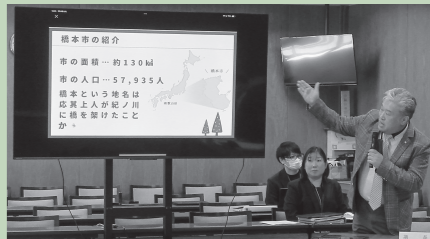
3月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

議案番号	件名	榎	前野	川上雅	藤岡	小黒	長田	松岡	平松	金尾	森	宮田好	小林	倉野	川上博	宮田公
議案第10号	高梁市吹屋ふるさと村観光施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	高梁市下水道事業受益者負担金に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	高梁市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	高梁市斎場、葬祭用具その他施設等使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和8年度高梁市一般会計予算【修正案】	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和8年度高梁市一般会計予算【原案】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	非核三原則の堅持を求める請願	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める国への意見書の提出を求める請願	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
乙議案第2号	高梁市議会議員の議員報酬の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。他の議案は全会一致となりました。



議会ニュース



たかはし暮らし応援商品券

「たかはし暮らし応援商品券」(一人5000円)を配布する議案が提案されました。

政府の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金約4億3500万円を元手として、そのうち1億4400万円を商品券配布に活用するものです。

議員からは、他市に比べ配布が遅れた原因について、質問がありました。商品券配布にあたり、高梁商工会議所、備北商工会及び金融機関との連絡調整に時間を要したとの回答がありました。また、商品券には「迅速性、公平性、利便性」の点で疑問が残るとの意見がありました。

市は、当初5月中旬配布を予定していましたが、4月末に配

布を行うこととしました。



※対象者は令和8年3月1日時点で高梁市に住居票がある人

読みやすい紙面づくりを目指して

議会広報公聴特別委員会



市公式 LINE で議会情報を発信(和歌山県橋本市)



分かりやすいパワーポイントでの説明(奈良県王寺町)

2月4～5日、市民が読みやすい議会だよりの紙面づくりを目指して、先進自治体である和歌山県橋本市と奈良県王寺町の取り組みを視察しました。橋本市では読者を議会だよりに巻き込む工夫を学び、王寺町では工

高梁国際ホテル提言書まとまる

高梁国際ホテルは備北地区唯一のシティホテルとして長年運営されてきましたが、社会情勢の変化により収益構造に大きな影響が出ています。

こうした中で市議会は、令和7年6月に議会運営委員会に所属する議員で高梁国際ホテル検討協議会を立ち上げ、関係者からの聞き取りを行い、令和7年8月に内容を整理し、議員間討議を経て中間報告としてまとめました。

その後の検討協議会で、今後の対応をホテルの経営継続と断念の二面から検討しました。具体的には、銀行融資やスポンサー公募による経営継続の方向と、民事再生法の活用や会社清算と売却など経営断念の方向を示し、それぞれの選択による課題も整理した提言書(案)をまとめました。



議長から市長へ提言書を提出

そして、令和8年3月の全員協議会で提言書(案)について質疑応答を行い、高梁国際ホテルの在り方に関する提言書として市に提出しました。

基幹産業の農業を守るために

総務産業委員会



建物内で説明を受ける

ニバーサルデザインを含めての紙面構成を学ばせてもらいました。視察で得た知見をこれからの議会だよりに反映していきたいと思えます。

2月9日、川上研究開発センター(アグリテクノサーチ株式会社)を視察しました。本センターは高梁市との協定に基づき平成23年に開設され、農業機械の開発や種子のゲル加工技術「タネまる」の研究、果樹の栽培など幅広い取り組みを行い、地域農業の振興に貢献していま

す。また、人材育成や^{まち}圃場管理など地域への関わりも深く、今後の農業の可能性を感じる有意義な視察となりました。



センター内の倉庫の様子

教育施設の改修状況は

市民文教委員会

2月12日に「空き家対策についての現在の状況確認等」「教育施設の現状と対応状況」について所管事務調査を行いました。高梁小学校、落合小学校、成羽小学校の順で現地視察を行った後、施設整備の要望等について、現状と対応についての質疑応答を行いました。それぞれ教育施設はPTAの要望も含めて、安全性・教育効果など



落合小学校の中庭



高梁小学校の体育館

を考慮の下に優先度の高いものから改修等の施設整備が必要となつてきます。また、空き家対策については、執行部から本市における空き家の概要説明、特定非営利法人空き家コンシェルジュの概要説明、危険家屋への除却対応などの説明の後、委員と執行部との質疑応答が行われました。

地域医療の目指す先とは

— 高梁市議会議員研修会 —



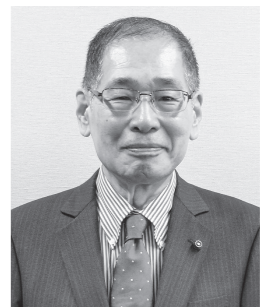
議員研修会の様子

2月6日に、城西大学経営学部いせきとくの伊関友伸教授を招き、「試練の時代の自治体病院経営」をテーマに行いました。伊関先生は総務省の「経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー」であり、特に公立病院の経営強化に深く携わっております。

先生は、研修会当日の午前中に大杉病院、高梁中央病院、成羽病院を視察し、市内の医療状況を踏まえた上で、成羽病院の経営分析と改善に向けた話をされました。

成羽病院では手持ち資金が毎年減少しており、安定した医療提供を続けるためには病床稼働率の改善や健康診断・リハビリテーションの積極的な受け入れ、近隣医療機関との連携強化などを行い、財務改善を図ることが急務との提言をいただきました。

新しく2つの会派が結成しました！



小林重樹



前野洋行



長田伸彦

高梁政志会 (令和7年9月22日結成)



宮田公人



榎隆宏

かけはし (令和8年3月25日結成)



会派

同じ考え方や政策を共有する議員が、議会内で活動を共にするためにつくるグループのことです。
高梁市議会では中立性の確保から議長、副議長は申し合わせにより会派に属することはできません。

市としての姿勢が問われる

「高齢者福祉」の方向性



前野洋行 議員

特別養護老人ホーム「鶴寿荘」について

Q 令和7年度に調査・研究された「高梁西部地区の医療・福祉の在り方」の報告書において、鶴寿荘については、令和9年度末をもって廃止の方向性が出されたが、「現状と課題」についてどのように分析しているのか。

A 2月末現在で定員50名に対して入所者は29名。5年ほど前から稼働率が低下。稼働率の低下に伴う収入減、また人件費の高止まり等により特別会計の財政を圧迫している状況。併せて、施設の老朽化に伴う改修費など維持管理費の増加や介護人材の確保が困難といった課題を抱えている。

Q 入所者数の減少は、市内高齢者数の減少もその要因と考えられるが、岡山県内の特別養護老人ホームの待機者数は6千人前後とも聞いており、今後、都市部の高齢者数はさらに増加し、広域型の介護施設である鶴寿荘の需要は十分にあるのではないかと懸念している。

A 施設への入所にあたっては、入所者及び家族の生活圏とのつながりが重要視される傾向にあり、現状、鶴寿荘の市外入所者は1名であり、過去の入所者を見ても数名程度となっている。

Q 鶴寿荘の運営について、以前より市外の社会福祉法人から要望等もあると聞いているが、今後、協議をする考えはあるのか。

A 令和9年度末の廃止という決定方針に変わりはないが、これからも民間の提案等によって何が最善か考えていきたい。



▲動画視聴はこちらから

即戦力55歳以上のUターン者に支援を



松岡隆雄 議員

Uターン者の支援について

Q Uターン者の支援の現状と年齢制限について問う。

A 本市では、Uターン者の実数は把握できていない。農業分野では、Uターンに限らず新規就農者に対し、国・県の制度（研修支援・経営開始資金など）や市の就農奨励金により支援を行っている。ただし、これらの中には49歳以下または55歳以下の年齢制限がある。

Q 55歳以上65歳未満のUターン者を対象とした支援金制度の創設を提案する。55歳以上のUターン者を対象とした本市独自の支援制度の創設について、市の考えを聞きたい。

A 55歳以上を対象とした新たな支援制度の創設は、現時点では難しいと考えている。一方で、年齢制限のない認定農業者制度などを活用すれば、機械導入など一定の支援は可能である。

Q 即戦力となる55歳以上のUターン者を地域再生の担い手と位置づけ、全国でも例のない戦略的政策を検討する考えはないか。検討するのもしないのか、明確な答弁を求めたい。

A 特定の年齢層に限定せず、すべての年代の移住・定住を推進していく考えである。農業に限らず、サービス業や製造業も含め、高梁市に求められる方々への施策を総動員して取り組む。提案の趣旨については、農業分野を中心に今後検討する。



▲動画視聴はこちらから

「子育てするなら高梁市」と言えるまちへ



長田 伸彦 議員

市外の産婦人科との
広域連携について

Q 神石高原町に開院した産婦人科・助産院は備中・川上・成羽地域からも利用しやすい立地にある。産後ケア事業として県境を越えた連携を検討する考えはないか。

A 県域を越えても、産後ケアを不利益なく利用できるよう進め

病児保育の整備について

Q 子どもが発熱した当日など急性期に対応できる病児保育の整備を検討する考えはないか。

A 現在設置している病後児保育は利用が少なく、廃止予定。一方、病児保育のニーズは認識している。まずはアンケートを

実施し、保護者の実情やニーズを把握した上で、実施の有無を含め検討する。

Q アンケートにあたっては単純な数だけでなく、切実に必要とする家庭の状況など、質の部分も重視すべきではないか。

A 量的把握だけでなく、保護者が直面する課題や安心して預ける条件なども含め丁寧に把握し、実情を踏まえて検討を進める。

病後児保育（令和8年3月31日で廃止熱が下がって少し元気になってから預けられる。
※インフルエンザなどの感染症で、まだ症状がある間は利用できない。
病児保育
発熱や感染症（インフルエンザなど）のときでも預けられる。今後設置について検討。



▲動画視聴はこちらから

市民のくらしが一番ではなから



藤岡 善行 議員

各種補助金の
減額、廃止について

Q 生活道整備費補助金は、どのように見直されるのか。

A 補助上限額を50万円から40万円に変更した。ただし、災害復旧工事は従来どおりである。

Q 市民提案型まちづくり支援事業の廃止の理由は何か。

A 要望する団体が少なくなってきたおり、一定の成果も上がったため。

特別養護老人ホーム
鶴寿荘について

Q 施設入所されている方々への対応について、どのような計画があるのか。

A 個々の身体状況やご家族の意向を踏まえながら、他の施設

へ移っていただく調整を進めていく。

Q ごみ収集は有料化するのか。

A 厳しい財政状況や人口減少を踏まえ、多角的な観点から慎重かつ総合的に検討していく。

Q ごみ出しが困難な世帯に対して、戸別収集が必要ではないか。

A 実証期間を通じて、事業としての有効性・持続性が確認でき、令和8年4月から市内全域に拡大していく。

保護猫について

Q 市内保護団体との連携はあるのか。

A 団体と連携して団体が実施する各種活動を支援し、その取り組みを促進している。



▲動画視聴はこちらから

川上中学校再編合意ならず!! 教育は未来への先行投資!!



金尾 恭士 議員

教育行政について

Q 令和9年4月の川上中学校再編が白紙に至ったことについて市教委の考えを問う。

A 保護者の合意形成が十分に得られていないため、令和9年4月の統合は行わないこととなった。適切な再編時期を保護者や地域の方と一緒に、今後も協議、検討してまいりたい。

有漢学園の1年目の
成果と課題について

Q 有漢学園の成果と課題を問う。

A 1、9年生の切れ目のない教育が行われている。今後は令和8年度に統合する巨瀬・中井地域との連携が不可欠である。有漢、巨瀬、中井地域をフィールドとしたふるさと学習に力を入れていきたい。

Q 今後は、教育委員会のトップダウンの手法は改めていただきたい。設置者である石田市長はどのようにお考えか。

A 地域、保護者の皆様、教育委員会の判断を十分に尊重し、格差のない教育が実施できるような設置者としての責任を果たしていきたい。

Q 「徹底反復」の成果を問う。

A 日々の読み書き計算の積み重ねにより、基礎学力の定着、集中力の向上、切り替えの早さが見られ、学力定着確認テストの結果を見ても学習の土台が強固になっている。



▲動画視聴はこちらから

高梁市のシンボル備中松山城を 山林火災から守るべき



小林 重樹 議員

備中松山城の
防火対策について

Q 備中松山城を山林火災から守るために、防火帯の設置に取り組むべきではないか。

A 防火帯設置においては、城の所有者である文化庁、国有林を所管する林野庁や臥牛山の麓を走るJR西日本など複数の関係機関との協議が必要となる。また事業実施において伐採木の搬出や補償費などに膨大な費用が想定される。国の補助が不可欠であるが、防火帯の設置において国庫補助事業の情報を持ち合わせていない。

を進めてほしいがどうか。

A 文化財に対する防火対策について防火帯に限らず、あらゆる防災手段について関係機関から情報収集するなど研究を進めていきたい。

Q 防火帯設置において、城の所有者である文化庁、国有林を所管する林野庁や臥牛山の麓を走るJR西日本など複数の関係機関との協議が必要となる。また事業実施において伐採木の搬出や補償費などに膨大な費用が想定される。国の補助が不可欠であるが、防火帯の設置において国庫補助事業の情報を持ち合わせていない。

Q 臥牛山の山林火災において最前線に対応する消防の立場から消防長の言葉を聞きたい。

A 市民の財産を守ることが我々の使命である。1秒でも早く現場に到着し、人命、文化財保護を最優先に消火活動に全力を尽くす。



▲動画視聴はこちらから

防火帯
山林火災や大規模な火災の延焼を防ぐために可燃物（木、草など）を取り除いて設けられた帯状の空間



出典：岡山県ホームページ

Q 岡山県地域公共交通ビジョンに対する市の見解はどうか。
A 策定の中で実施された調査では、県内の広域的な移動は主に鉄道が担っていると考えられている。本市にとって、JR伯備線が市民の通勤、買い物と市内を訪れる観光客の移動手段として重要なインフラであることを再認識した。

公共交通について

林野火災対策について



川上博司 議員

山火事を起こさず、起さず

Q 3年間で5億円の収支不足を補う「行財政改革強化集中プラン」の事業精査において、数値的な根拠や期限を明示する仕組みが必要だ。新規事業も原則3年で検証とするなど客観的な基準を共有することで、職員の負担軽減と迅速な意思決定につながるものと考えられる。行革の着実な推進により、現在見直しが予定されている手当の早期復活も見えてくるのではないかと。
A 主要な案件については市長自らヒアリングを行い、客観的データに基づき精査している。3年ごとの事業を評価するルールも設けている。今後も市民

行財政改革について

林業の推進について



榎隆宏 議員

行財政改革を効率的に進めるべき

Q 女性の登用が進むほど、家庭内での意識改革が伴わなければ本当の意味での働きやすさは実現しないと考えるがどうか。
A 女性にとっても男性にとっても働きやすい環境を整えていくためには、共働き、子育て、さらには共家事といった視点も取り入れながら、仕事と家庭の両立支援、男女双方の意識改革、理解促進の取り組みを進めていく必要があると考えている。

女性が活躍できる環境について



小黒ゆかり 議員

誰もが輝ける高梁市の実現に向けて

Q 窓口は市役所の顔である。その対応は市民の信頼に込められているのか。
A 職員一人一人の意識向上とモチベーションの向上を図り、より質の高い窓口サービスが市民の皆様方へ提供できるようにしていく。

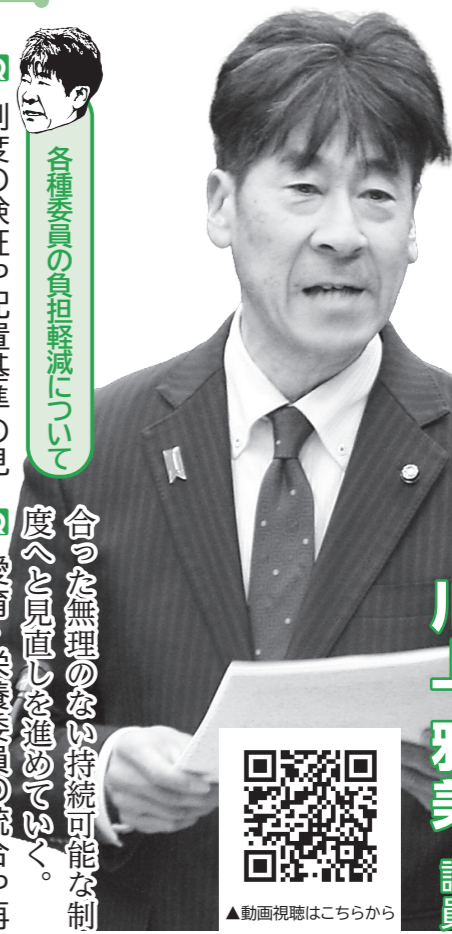
市職員の窓口対応について

コンサルタントへの委託について

市民の立場からは、委託の

成果が分かりにくい面もあるが、どのように考えているか。
A 委託が多く見えるという指摘も踏まえ、今後は業務内容や職員の関与状況について市民に分かりやすく説明していく。

各種委員の負担軽減について



川上雅美 議員

地域委員制度の再編と持続可能性の確保について

Q 町内会の小規模化が進む中で、活動の形骸化、役職の必要性を疑問視する意見を市長が地域のまちづくり懇談会などで直接聞いています。高梁市地域支援検討会議において、委員の負担軽減や制度の見直しについて検討を進めており、役割の見直しや活動の簡素化などを提案している。また、町内会長や委員へのアンケートでは大きな隔たりがある。現在は、地域コミュニティの代表者の方にもアンケートをお願いしており、その結果をもとに、地域の实情に

合った無理のない持続可能な制度へと見直しを進めていく。
Q 愛育・栄養委員の統合や再編の必要性について、市としてどのように認識しているのか。
A 愛育・栄養委員も、それぞれ必要なボランティアと考えている。2つの委員は、選出母体、役割がそれぞれ異なる部分がある。統合するとかえって負担が増すことも懸念をしている。統合にはハードルがある。しかしながら、委員の選出に苦慮している地区があるというのにも認識している。同じ人が何度も委員を受けるといのは、本意ではないかと思っている。
 高梁市としてもこの課題を十分に認識しており、今後も地域の实情に合わせて柔軟に対応していく。

成羽病院に関しては判断のタイミングを間違えないように強く望む



森 和之 議員

成羽病院の経営改善について

Q 96床での経営が現状のスナップで難しいのであれば、報告書に記載されている65床への病床数削減を考えるべきではないか。

A 厚生労働省の病床数適正化緊急支援事業では、1床削減すれば約410万円を支給する制度があるが、これを活用する考えはないのか。

A 厚生労働省もそういった金額を提示して病床数を削減することを提案していることは承知している。仮に30床減らしたとして約1億2千万円の支援を受けられる計算になるが、これはワンショット、その単年度で終わるものである。成羽病院の赤字は1億2千万円くらいで解消できるものではない。財政的な助けにはなると思うが、将来の医療需要、職員の確保をどれだけできるのか、こういうことを考えながら取り組まなければならないと思う。

落合雨水ポンプ場について

Q 完成した後、地域住民の安心につながる施設見学や説明会を行うべきではないか。

A 今年度末には排水機能が発揮できる状況になるが、場内整備、周辺の舗装工事と外構工事の完成が令和8年12月末になる予定である。地域住民の皆様にも協力をいただいている施設でもあるので、完成後には説明会を開催する。

新たな産廃処分場が許可されないよう求める



宮田 好夫 議員

高梁東中学校の統合について

Q 再編準備委員会で、どのような内容が話されたのか。

A 統合時期、通学手段、補助制度、統合に向けた諸準備など話し合った。

Q 通学手段はどうか。また、通学路に街灯がない場所があるが。

A 通学手段は路線バス、R、自転車となる。防犯灯がない区間については、市の設置基準があり、丁寧に説明したい。

産廃廃棄物最終処分場について

Q 許可取り消しになった施設の管理状況はどうか。

A 県からは排水口の上流と下流で、3か月ごとに水質検査を行い、数値は問題ないと聞いている。

Q 現在計画中の(株)吉備クリーンセンターの管理型処分場の排水も、津川地域の河川に流れ込む。県に許可しないように要請してもらいたい。

A すでに県には、住民の安心・安全が図られるよう慎重な審査を行うよう要請している。

高梁市総合計画後期基本計画は、前期と比較し、何を見直したのが



平松 久幸 議員

高梁市総合計画後期基本計画について

Q 前期基本計画と比較して何を見直したのか。

A 人口減少対策や子育て支援、防災・減災など、重要性・緊急性の高い分野に取り組んだ。人口減少が進む中であっても安心して暮らし続けられる地域社会の実現を目指す。

Q 行財政改革強化集中プランについては、3年後には見直し、内容を元に戻すのか。

A 3年後に元に戻すことを前提とするものではない。

Q 人口減少は抑制可能なのか。

A 人口減少そのものを短期間で反転させることは容易ではないが、移住・定住の促進や子育て支援、教育環境の充実など人口減少の要因に対応する施策を重点的に推進することにより、人口減少の抑制が期待される。

Q 若者層の定着促進はどのような取り組みを考えているのか。

A 令和8年度は、子育て世帯向け住宅の確保や公園整備などの生活環境の充実に加え、女性の活躍や定着に向けた課題分析を行い、新たな施策の検討を進める。

議会を傍聴しませんか

次回の定例会の会期日程(予定)

6月12日(金)から7月2日(木)まで

※時間は10時から

一般質問

6月18日(木)・19日(金)・22日(月)

議案質疑

6月24日(水)